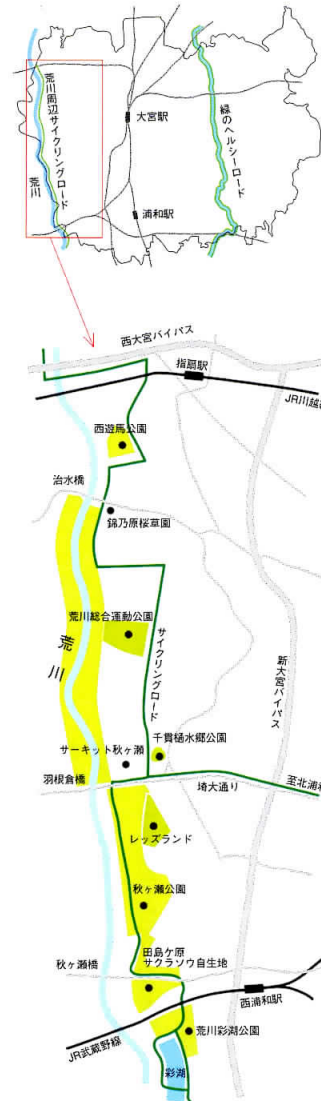




特集：サイクリングで、まち再発見

# 自転車で出かけよう！ リバーサイドを走ろう！

サイクリングは、ジョギングやウォーキングと並ぶ代表的な有酸素運動の一つ。排気ガスを出さない自転車は、地球環境にやさしい乗り物としても注目されています。今回は、荒川周辺のサイクリングロードを特集し、周辺の見どころや自転車の魅力、自転車に対応したまちづくりなどについてご紹介します。



## 快感！ まつすぐに続く道

青空の下、風を切って走る。視界に次々と飛び込んでくる風景。季節の草花が色鮮やかに迎えてくれる。

ここは荒川に沿って続くサイクリングロード。市内では、見沼代用水沿いに整備されている「緑のヘルシーロード」と並ぶ人気の自転車道です。高速で走り抜ける人もいれば、景色を楽しみながらのんびりとペダルをこぐ人、楽しそうに会話をしながら走る人たちもいて、みんな自分のスタイルで思い思いにサイクリングを楽しんでいます。

北浦和駅前を起点に羽根倉橋から上流方面は、全長約45キロメートルに及ぶ「さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道（荒川自転車道）」です。広大な河川敷を見ながら、土手の一本道を自転車だけで楽しめる快感は、一度試してみる価値あり！です。

羽根倉橋から下流方面は、河川管理道路などを利用し、「秋ヶ瀬公園」から「彩湖」などへと続く、緑が

美しいコースです。ここは、スポーツやレジャーを楽しむ人たちで、いつでもにぎわっています。

## 風に誘われて、花咲く水辺へ：

「荒川彩湖公園」や「彩湖」周辺は、水辺が広がる憩いの空間です。遊具があるので、のんびりと休日を通したい家族連れにもおすすめです。

秋ヶ瀬橋の南側の河川敷にある「田島ヶ原サクラソウ自生地」は、国の特別天然記念物。「サクラソウ」は市の花に制定されており、例年4月初旬から5月初旬にかけて約150万株が敷地をピンクに染めます。近くには広々とした芝生広場があり、思いっきり遊ぶこともできます。

「千貫樋水郷公園」は、羽根倉橋から少しわき道に入ったところにあります。住宅の間を縫うように整備された公園で、初夏にせせらぎ沿いを歩いてみれば、見事なハナシヨウブに出合えます。

## 荒川周辺のサイクリングロード



彩湖(写真上) 治水・利水・自然保護を目的とした人造湖。荒川の水が増水したときは一時的に水を貯めて洪水を防ぎ、水不足のときは湖水を水道水として利用する。周辺は自然環境に配慮して整備され、数多くの野鳥や、水辺を好む多様な植物が生息する。

田島ヶ原サクラソウ自生地(写真左) 運動広場や芝生広場を有する「さくら草公園」のシンボルであり、サクラソウ自生地としては、わが国唯一の特別天然記念物。サクラソウは、治水橋周辺の「錦乃原桜草園」でも見ることができる。